

富士見市立放課後児童クラブ指定管理者変更に伴う利用者説明会
質疑応答の記録 【ふじみ野放課後児童クラブ】

日 時：令和8年2月15日（日）午前9時30分～

会 場：ふじみ野小学校体育館

出席者：富士見市保育課、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

Q：支援員の継続雇用や処遇はどうなっているのか

A：継続雇用については、現在通知をし、2月末までに回答をいただく予定。処遇については、1/14・1/16の説明会において当初は原則有期雇用で勤務3か月以降に正社員への登用制度がある旨を説明したが、心配の声が多かったため改めて協議し、有期雇用は当初から無期雇用、有給休暇は4月からの前倒し付与、事業団にある住宅手当はなくなるが、年収ベースで下回らないよう対応する

Q：支援員や補助員はどのくらい残ってもらえるのか、新しく採用する人は未経験者か

A：継続雇用については2/6に通知を発送し、2月末までの回答待ちとなっている。未経験の職員をいきなり配置することはない。

Q：児童数と支援員の配置関係は

A：現在の受入れ児童に加え、新入室児童、配慮が必要な児童が増加しているため、体制について配慮する

Q：危機管理に関する点数が7.3と低いと感じるが大丈夫か

A：これまでの危機管理を全て把握しているわけではないため、確認し、未然の防止策もとりながら対応していく。

Q：イベントはどうなるのか、保護者も協力するのか

A：これまでの取り組みは引継ぎで確認する。保護者会の事業については連携ができればと考えている

Q：保護者会活動の軽減との話があるがどのようなことか

A：クラブごとの詳細はわからないが、保護者会活動の負担が大きい部分を手伝うことで軽減を図ればと考えている。保護者会と連携していく

Q：今後、保護者会はどうなっていくのか

A：保護者会は保護者の総意で行っていると認識している。保護者会を続ける、続けたいは保護者間で話して決めてほしい

Q：市から株式会社に変わるため利益を追求すると思うが、経費削減はどのように考えているのか

A：児童クラブの運営は子どもの笑顔を守るためにやっているため子どもの生活に関わる部分での経費節減は考えていない。ICT活用や職員の離職防止などで経費節減をする。事業団は市が出資し設立した団体ではあるが、平成20年から一社会福祉法人として独立していることから、公的から株式会社に移行したわけではない。

Q：医療的ケア児の対応例はあるのか

A：個々人で対応が異なるためすべてに対応できるわけではないが、キッズサポートチームで対応している。難しい場合は別の対応も検討する

Q：放課後児童クラブは子どもの生活の場であり、これまで事業団が長い間担ってきた。そもそも指定管理者制度で運営する妥当性はあるのか

A：民間活力を活用することでより良いサービスと経費節減を目的に導入した。これまでは事業の性質も踏まえ随意指定としてきたが、社会状況の変化に合わせて、より良い提案をいただきサービス向上を目指すため公募による事業者選定となった

Q：子どもの最善の利益を守る必要がある。市は放課後児童クラブの運営を今後も民間委託をしていくのか。事業団は今回のことで人材が失われる

A：事業運営は今後も指定管理者に運営を委託していくが、市として責任を持って取り組んでいく。支援員・補助員については転籍いただき、継続いただきたいと考えている

Q：市の責任とはどこまでの範囲か

A：管理運営はシダックス、市は指導・監督を行う

Q：保護者連絡会や一人帰り、長期休業期間中の昼食の手配や手作り昼食はどうなるのか

A：保護者連絡会は各クラブ保護者会の横のつながりのため保護者の皆さんで対応してほしい。引継ぎ確認もするが、一人帰りについては、書面を出してもらうことを想定している。長期休業期間中の昼食手配は準備を進めている。手作り昼食は保健所等に確認している

Q：支援員の継続雇用について、おおよその見込みを把握していないのか

A：全国実績では85%程度の継続状況。8割は継続していただければと考えている

Q：子ども達が安心安全に過ごせるよう支援員の処遇を守ってほしい

A：シダックスとして地域相場を考えプラスの提案をしたが、それを上回る処遇の状況であった。年収ベースは守り面談したうえで提示し、有給休暇も4月前倒し付与とした

Q：引継ぎが円滑にできればよいが、処遇で合わない部分はどうかにならないか

A：現行の処遇を下回らないよう配慮をお願いしている。引き続き、協議・調整し対応していく

Q：シダックスでは有期雇用が多いのか

A：基本的に有期雇用でお願いしている。有期雇用であっても勤務して3か月後に無期を希望する場合には、面談等を行っている